

葛野だより

11月号

京都市立葛野小学校
令和6年10月30日
校長 笹岡 法道

〒615-0882
京都市右京区西京極葛野町2
TEL:075-311-3510
FAX:075-311-3557



学校 HP へは
こちらから

令和6年度前期学校評価の結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。

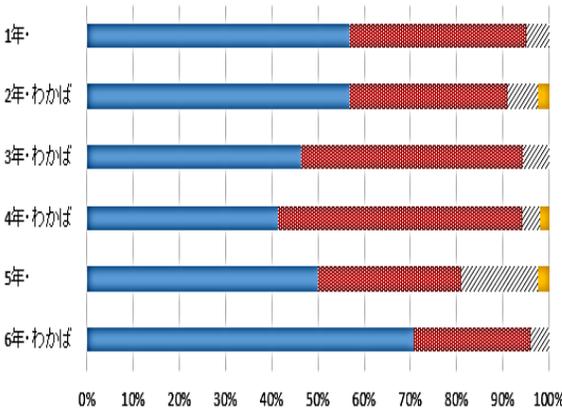
今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思ひます。

『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』において

【保護者アンケート結果】



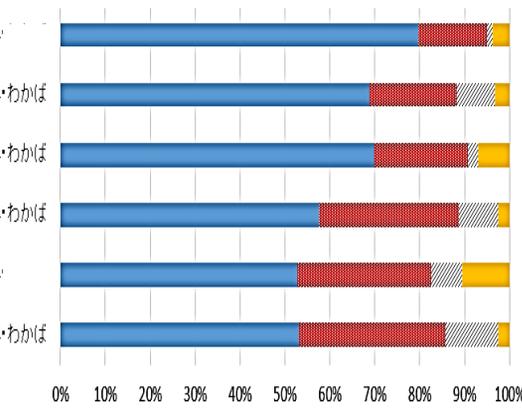
○楽しく学校に通っている。



【児童アンケート結果】



○毎日、楽しく学校に通っている。



アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

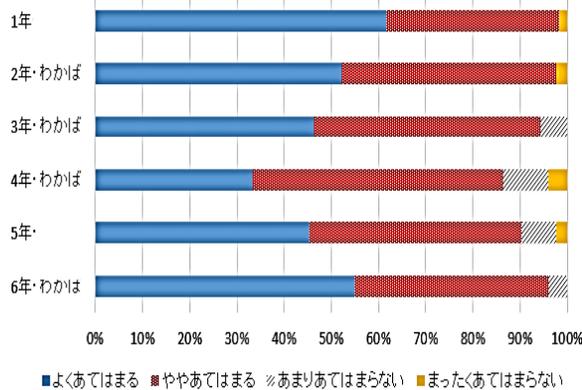
学年によって多少の差があるものの、児童・保護者共に「毎日、楽しく学校に通っている」という回答が80%から90%以上を占める割合となっていました。

各学級・学年での学習活動、たてわり活動などでの異学年交流、スポーツフェスティバルなどの行事など様々な場面でもこの結果と繋がる児童の素敵な姿が見られます。

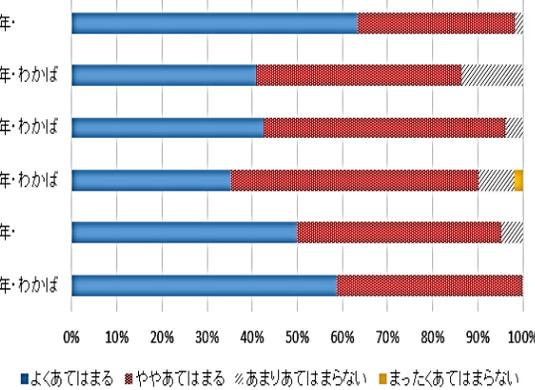
反面、「少しできていない」「できていない」の回答も一定数ある現状を真摯に受け止め、どのような教育活動を実施できるのかを全教職員で考え、児童一人一人に寄り添った教育を積み重ねていきたいと思ひます。

『わかる授業』・『子ども理解』について【保護者】

○先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。

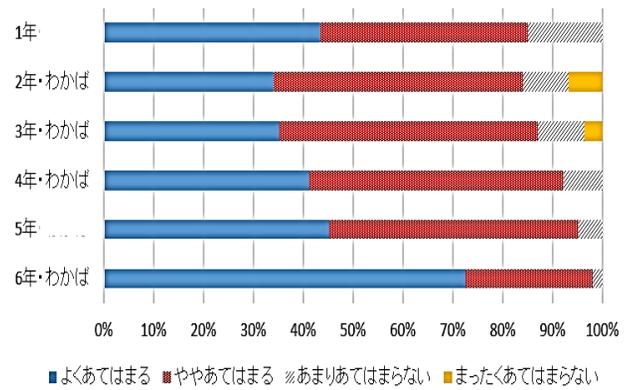


○先生はわかりやすい授業を工夫している。



保護者・地域との連携について

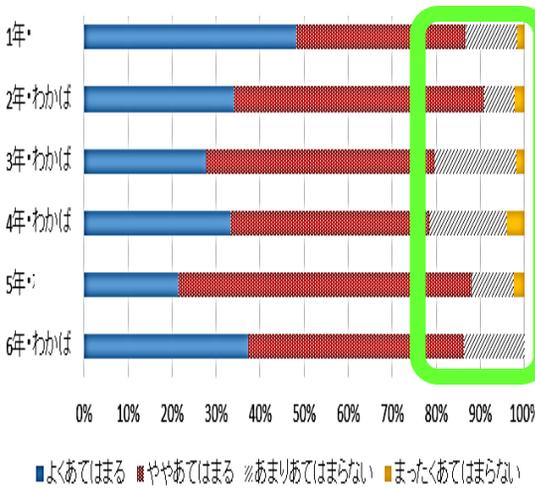
○学校のように、学校だよりや学年だよりよく知らせている。



◆「わかりやすい授業を工夫している」について、どの学年でも90%前後で「よくあてはまる」「ややあてはまる」となっています。近年、専科教員の配置や学年内での交換授業など指導体制の改善を図っています。また、今年度は「対話」を通して学びを深めることに重点を置き、児童同士が学び合える授業を心がけています。今後も児童が「できた・分かった」を実感できる授業を行っていきたく思ひます。

◆「心配なことを相談するようにしている」という項目では特に「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」要因はどこにあるのかを教職員一人ひとりが自分事として捉え、考えていきたいと思ひます。児童が安心・安全に過ごせる葛野小学校を目指していきます。

○子どもに心配なことがあるとき担任や学校に気軽に相談するようにしている。



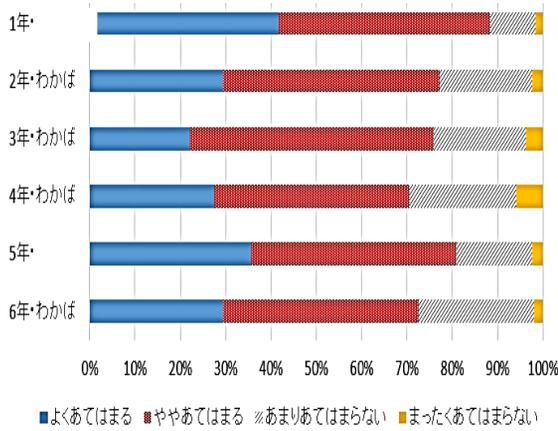
「学校だよりや学年だよりで知らせている」については、95%以上で「よくあてはまる」「あてはまる」と回答をいただいている学年と90%未満となっている学年が見られます。

「すぐーる」を活用してお便りなどを配信していますが、今後もおたよりだけでなく、ホームページでも学年の様子を随時アップし、児童の様子や学年の取組を保護者の方をはじめ地域の皆様など多くの方に知っていただけるように努めていきたく思ひます。

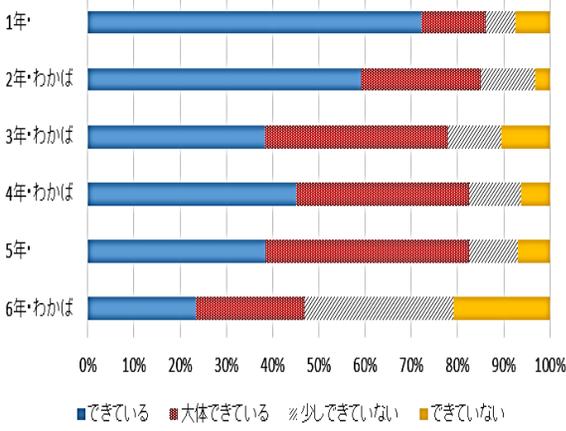


家庭学習の習慣化について（左：保護者 右：児童）

○家庭学習の習慣が身についた。



○家での勉強は、学年×15分できている。



家庭学習については、学年×15分を目安としています。学年が上がるにつれて時間も長くなります。その分、教科学習だけでなく、自分が興味のあることを調べる自主学習に取り組んだり、読書の時間を取ったりする機会としていただきたいと思います。大切なことは、家庭学習を通して「自分に必要なことを自ら学ぶ力」をつけることです。ご家庭でもお声かけよろしく申し上げます。

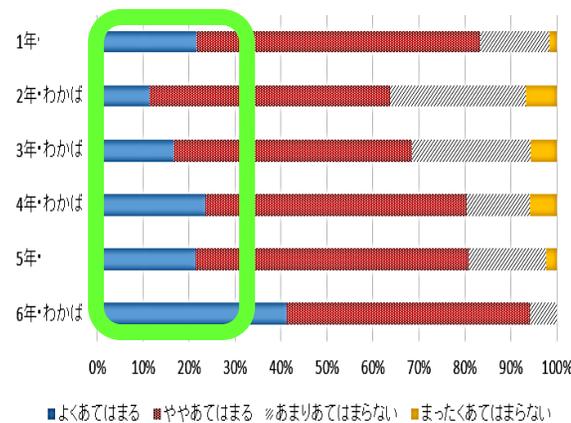
職員室前の 掲示板では、自主学習をどのように進めていけばいいのかを掲示しています。ぜひ日々の学習の参考にしてください。また、持ち帰りをしている GIGA 端末も『デジタルドリル』だけでなく、日々の疑問を解決するツールとして活用してください。

生活習慣について

【保護者アンケート結果】

【児童アンケート結果】

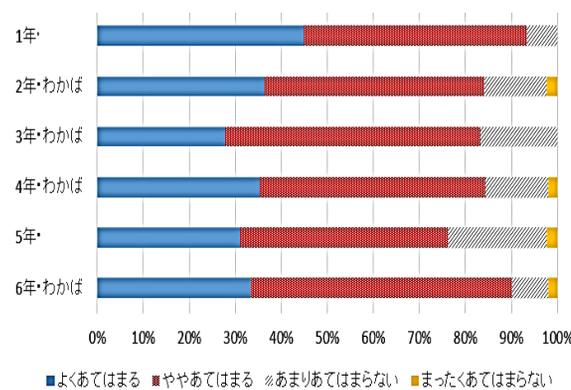
○進んであいさつできるようになった。



○すすんであいさつしている。



○子どもに早寝早起きさせている。



○早寝早起きできている。



◆「進んであいさつできるようになった」は例年、児童と保護者の「よくあてはまる」の回答に差が出ています。児童の「挨拶ができている」基準と保護者の方の「挨拶ができている」の基準に違いがあることも考えられます。それが悪いこと、ではなくて「こういう挨拶ができるといいね。」と示すことが大切なのではないかと思えます。教職員にも同じことが言えるのですが、「しっかり挨拶しよう。」と「自分から相手の目を見て挨拶しよう。」では児童の捉え方は変わってきます。高学年や大人が挨拶のモデルを示していくことで、葛野小学校や家庭、地域に素敵な挨拶が広がることを願います。

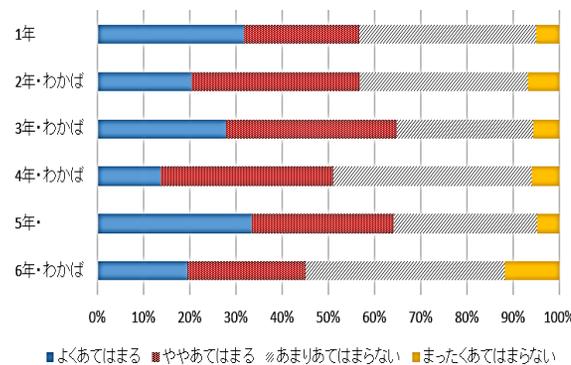
◆早寝早起きについては、高学年になるにつれ「できていない」回答が目立つようになってきました。十分な睡眠時間は児童の成長に欠かせないものです。児童からは「実は布団に入って本を読んでいる…」「スマホを見ている…」という声も聞きます。高学年では、寝るように促すだけでなく、1日をどのように過ごすか計画を立てる中で健康な生活をつくってほしいと考えています。学校でも健康教育をさらに進めていきたいと思えます。今後ともご家庭でも特にご協力いただきたい項目の一つとなります。

読書の習慣化（左：保護者 右：児童）

本校では10月28日～11月15日までをもみじ読書週間としています。

葛野きずなの会の皆様より

○読書するようになった。



○本をよく読んでいる。



「本を読んでいる」という項目については、高学年になるにつれ低くなっているのが課題です。昨今、タブレット学習の充実が言われていますが、タブレットとその他の活動のバランスを調整する「自己調整力」もまた付けていきたい力の一つです。動画から情報を得ることが多くなった現代、自分で読み取らなくても目や耳から情報が入ってくるようになりました。読書（特に活字に触れる）時間を確保することで、読解力を高めることができるのではないかと考えています。さらに、読書をするを通して、世界観が広がったり、想像力も高まったりするという良さもあります。ご家庭でもぜひ読書をする時間を設けていただければと思います。

日々、葛野小学校の教育を支え、見守ってくださっている地域の皆様からもご意見をいただいております。「葛野の子は元気で、何かあってもなくてもよく話をしてくれる。」と児童との関わりを伝えてくださることに感謝の思いでいっぱいです。反面、アンケート項目の分析と同様、「挨拶」への意識の低下もご指摘いただきました。児童だけでなく、教職員一同、人と人の関わりをより大切に過ごしていきたいと思えます。

12月にも学校評価アンケートを実施し、結果を3学期にお知らせする予定です。2学期の折り返しとなったこの時期に、再度この資料にある項目を中心に、児童への温かいお声かけをお願いいたします。今後とも、学校・家庭・地域が一体となって児童の健やかな成長を見守っていただければと思います。